

『世界が水を奪い合う日・日本
が水を奪われる日』
橋本淳司／著



PHP研究所・刊
定価：1,680円（税込）
四六判／280ページ
ISBN978-4-569-70502-6

現在、世界各地が水不足である一方、右肩上がりに水需要は増えているため、少ない水をめぐり、川の上流に位置する国と下流に位置する国とで奪い合いが起きている。島国である日本は一見無縁のようであるが、それは甘い。最近では、慢性的に水不足問題を抱える大国・中国などの外国企業に、日本の水源地が買収されるといふ噂が絶えない事態となってきた。日本国内もすでに「水戦争」の戦場だと言っている。

そこで、本書では、水問題を専門とする著者が、世界の水争奪戦を俯瞰するとともに、水ビジネスの動向なども交え、今後、日本がとるべき対策を説き明かす。資源・環境問題を考えるに欠かせない一冊である。

PHP研究所文芸出版部／大久保龍也